



個性と人間味あふれる演技に引き込まれます。

人生が二度あれば

劇団 nono 第 14 回定期公演

3月22日(金)、23日(土)に文化会館フォルテで劇団 nono 第 14 回定期公演が開かれました。上演されたのは『人生が二度あれば』。劇団ドリームチョップの井口時次郎さんが演出・脚本を務めました。物語は父の遺品から見つかったラブレターから始まります。口数が少なく何を考えているか分からなかった父の素顔を探し求める中で、主人公は自身と息子との関係にも向き合い始めます。どこか身近で温かな家族のストーリーに、会場は感動に包まれました。

令和 6 年能登半島地震復興へ向けて 石川県野々市市チャリティ DAY

石川県アンテナショップ「八重洲いしかわテラス」(東京都)で、3月23日(土)、24日(日)にチャリティイベントを開催しました。「いしかわ復興支援リレー」では、市出身のアニメ監督・米林宏昌氏や俳優・清水みさと氏など野々市ゆかりの皆さんが駆け付け、能登の応援や野々市のPRを行いました。また、普段は店舗で買えない限定品も販売する「ののいち物産コーナー」は大盛況で、用意した商品のほとんどが売り切れに。売り上げの一部は、災害義援金としています。



米林氏が「能登復興」をテーマに描いたイラストを披露。



県立大学入学式を終え、窓口で手続きを進める学生。

野々市へようこそ！

大学出張窓口

3月29日(金)、3月30日(土)に金沢工業大学で、4月5日(金)に石川県立大学で、新入生向けの大学出張窓口が開設されました。慣れない土地での転入手続きの負担軽減と住民登録の促進のために毎年実施しており、今年で15回目の開設。3日間で合計99人の転入届を受け付けました。5日の県立大学向け出張窓口を利用した学生からは、「入学式終わりに大学内で手続きできるところが便利で助かった」「市役所へ行く手間が省けて良かった」などの声が聞かれました。

新たな学校 新たな出会い

小中学校入学式

爽やかな春の陽気に包まれた4月8日(月)。市内小中学校の入学式が行われ、小学生526人、中学生542人が新たな学校での生活をスタートさせました。

館野小学校では、79人の新1年生が緊張した様子で入場する姿も見受けられましたが、小山内裕之校長からの「あいさつをしっかりとしましょう」「友達と仲良くして、人が嫌がることや悲しむことは絶対しないようにしましょう」「交通安全に気を付けましょう」の3つのお願いに元気いっぱい返事をしていました。



名前を呼ばれると大きな声で「はい!」。りりしい表情です。

まちの話題 Focus

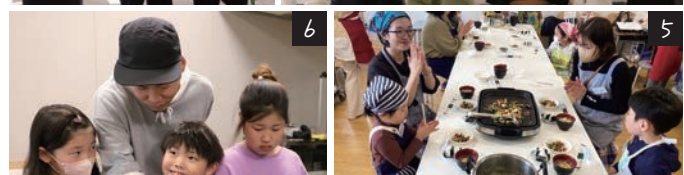
皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。
市民協働課 ☎ 227-6056

いくつになっても1からはじめよう！

1の1NONOICHI 5周年記念 THE 教室

みんなの学び舎「1の1NONOICHI」が4月1日(月)に5周年を迎えました。7日(日)には記念イベント「THE 教室」を開校し、学校の授業になぞらえた講座やワークショップを行いました。

THE 教室の授業は、普通の学校とは一味違います。理科は「めだかの学校作り」、体育は「HIPHOP ダンス」、音楽は「DJ 体験」、美術は「日本画入門」など、初めてのことに挑戦できる特別な授業が盛りだくさん。給食は、過去に1の1のシェアキッチンで腕を奮った皆さんが集まった「1の1シェアキッチン同窓会」で、食事からスイーツまでより取り見取りです。給食中には、主催者あいさつや1の1校歌「一から」の生歌唱などの「お昼の放送」も実施されました。思い思いの授業で“初めて”に触れた来場者らは、皆まぶしい笑顔を見せていました。



①めだかの学校できたかな? ②1の1グッズが当たる「青春ガチャ」も登場③親子でHIPHOP! ④和気あいあいとしたお昼の放送⑤“家庭”では、輪島伝統の味を作って味わいました⑥本格的なDJ 機材にっこり



みんなで歌ってジャンプ! 指揮はなんと粟市長です。

45 年分の思い出とともに

あすなる保育園閉園セレモニー

これまで園児約1,300人の成長の舞台となってきたあすなる保育園が、45年の歴史に幕を下ろしました。

3月17日(日)の閉園セレモニーでは、園児や保護者など約80人が園との別れを惜しみました。セレモニー後は、石川ウインズフィルハーモニックによる「さんぽ」などの演奏や、大道芸人のパフォーマンスが行われ、子どもたちは歌ってはしゃいで大喜び。最後は「あすなるbugyugi」と題した曲を卒園児が歌い上げ、会場からは園児と保育園に大きな拍手が送られました。

未来への希望を胸に

多機能型支援施設ヒラソル 二十歳を祝う会

3月20日(水・祝)、障害福祉サービスを利用する人で令和5年度に20歳を迎える人を対象に、二十歳を祝う会が実施されました。この会は、多機能型支援施設ヒラソルが主催するもので、令和2年度から継続して開催されています。会場の交遊舎には、対象者9人とその家族や施設職員など約70人が集まり、共に二十歳を祝いました。式典では、ヒラソルみずほで生活介護を利用する石川虎南さんが「名実共に大人と認められるよう自分磨きを頑張っていきたい」と決意を語りました。



式典後は、アトラクションとしてバンド演奏が贈られました。